



南国市立図書館「ごめんちあ」
10:00~18:00
月曜、祝日、館内整備日(月曜除く毎月最終平日)年末年始、蔵書点検期間
南国市駅前町3丁目1-2
088-863-0469

7月のお知らせ

第72回青少年読書感想文全国コンクール課題図書
貸出期間は1週間で、延長はできません。貸出中の本は予約できます。

小学校 低学年の部(1・2年生)
・たねはいのちのおわりとはじまり
鈴木純/著
ブロンズ新社/出版
・まこちゃんとコトバロゴ 村上しいこ/作 たんじあきこ/絵
・なにか いいこと あった? ミーシャ・アーチャー/作 石津ちひろ/訳
・ララのまほうのことは グレーシー・ジャン/作 やのあやこ/訳

小学校 中学年の部(3・4年生)
・まだまだここから 宇佐美牧子/作 酒井以/絵
・それからぼくはひとりで歩く アリシア・モリーナ/作 星野由美/訳 犬吠徒歩/絵
・おいしいお米をつくりたい! ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りしました 谷本雄治/著
・宇宙でウンチ みんなの知らない宇宙トイレのひみつ A. ボンドー=ストーン&C. ホワイト/作 L. ケンセス/絵 千葉茂樹/訳

小学校 高学年の部(5・6年生)
・ポジション! 高田由紀子/作
・リヒト! イノウエミホコ/作
・ミシュカ エドワルト・ファン・デ・フェンデル&アムツシュ・エルマン/作 アネット・スカープ/絵 野坂悦子/訳
・キミの一步アフリカ ゾウを食べるにはひと口ずつ 味田村太郎/文

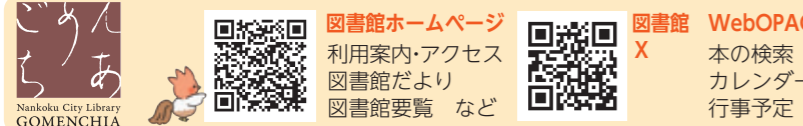
中学校の部
・君の火が ゆらめいている
落合由佳/作
講談社/出版
・チーム・テスならだいじょうぶ
カービー・ラーソン&クイン・ワイアット/作 杉田七重/訳
・リュウグウの砂に挑む チームで小惑星のサンプルを分析 伊藤元雄/著

高等学校の部
・スウィッシュ! 藤ノ木優/著
・ノアハム・ガーデンズの家 ペネロピ・ライヴリー/著 斎藤倫子/訳
・平和のうぶごえ 「原爆の子」として 生きた80年 早志百合子/著

7月展示のお知らせ
一般展示 「暑い」夏には「ぶ厚い」本を〜レング本フェア〜
児童展示 「さあ、なつだ!」
絵本展示 「なつはよる!」

7月図書館カレンダー
日 月 火 水 木 金 土
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31
○お休み △十市出張図書館
□あかちゃんのへや(乳幼児向け読み聞かせ・手遊び)
◇おはなし会(3歳児〜向け読み聞かせ)

おはなし会
場所 1階 おはなしのへや
スタンプを集めてもらえるプレゼントもあります。
【土曜のおはなし会】
毎週土曜日 10:15~10:45
対象/3歳以上(大人の方も歓迎)
絵本や紙芝居など、毎週いろいろなおはなしを楽しめます。
【あかちゃんのへや】7月9日(木)
毎月第2木曜日 10:30~10:50
対象/0~2歳の乳幼児
親子で触れ合うてあそびや絵本の紹介など、楽しいプログラムをご用意しています。ご家族での参加も大歓迎です。



ハイチックとごめん

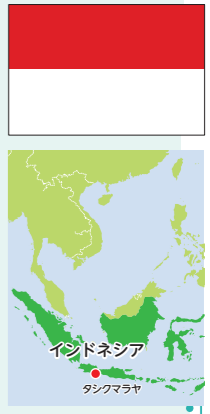
Nining Ratningsih
(ニンング ラトニングシー)
高知大学
農林海洋科学専攻
(修士課程)2年



308

こんにちは。インドネシア出身のニンングラトニングシーです。生まれはジャワ島のタシクマラヤです。気温が25度程度と過ごしやすく、野菜や果物(マンゴーやドリアン)の栽培が盛んな所です。
インドネシアの大学で農業について学び、卒業後は友人と、カンクン(クウシンサイ)というインドネシア特産の野菜やレタスなどを水耕栽培で育てる会社を設立しました。しかし、コロナウイルスの拡大で事業は1年で立ち行かなくなり、肥料の会社に就職しました。それから数年後、日本に来て芸西村のJAで2年間働きました。働いている時も農業をもっと深く学びたいと思っていたので、高知大学の大学院に志願しました。大学院を受験するまでには、いくつも英語や日本語の試験を受けなくてはなりませんでしたが、頑張りました。
高知に来た当初は勉強している日本語と耳に入る土佐弁が違うことに戸惑いましたが、今ではおもしろいと思います。「かまん(大丈夫)」という土佐弁は特に印象的でした。「分らん(分からない)」「知らん(知らない)」などの語尾の変化もおもしろいと思います。
日本での生活には全般的に安心感がありま

す。例えば、ごみの出し方には厳格なルールがありますが、そのおかげでどこも清潔です。役所の仕事はてきぱきしていて、あまり待たされることがありません。物価もインドネシアに比べ安定しています。人々は親切ですし、食べ物もおいしいです。
大学院では水耕栽培における竹粉の活用について研究しています。竹はアジアに広く分布しているので、この研究がインドネシアだけでなくアジア全体の農業に役立つことを期待しています。忙しい毎日ですが研究はとても楽しいです。修士課程を修了したら博士課程へ進み、将来はインドネシアの大学の先生になりたいと思っています。



NANKOKU 給食だより
高知の食べ物いっぱい入っちゃう日
高知に生まれ伝えられてきた地場産物や郷土料理、和食のすばらしさを子どもたちに伝えるため、毎月「高知の食べものいっぱい入っちゃう日」を設けています。これは高知県が推進する取組ですが、南国市も地場産物(県内産)活用割合60%以上を目指して献立を作成しています。
5月14日(木) 小学校献立
5月19日(火) 中学校献立
問い合わせ/学校教育課学校給食係 ☎088-863-2566